葉たばこ生産ベストテン
専売公社千葉支局管内

昭和四十一年度専売公社千葉支局管内の葉たばこ耕作者九五二名のうち、横芝町の次の諸氏がベストテンに入った。

❶総収納代金の多かった者
八位　中台　五木田なみ
九位　屋形荒場　海保忠義
十位　三本松　浅野　都信
（一位～七位は山武と長生郡の耕作者）

❷一〇アール当りの収納代金が多かった者
六位　三本松　浅野　都信
七位　屋形荒場　海保　豊
（一位～五位、八位～十位は山武と長生郡の耕作者）

❸千葉支局管内で一〇アール当りの収納代金が多かった町村（金額は町村内の平均）
一位　白子町　一三四、四三一円
二位　横芝町　一三三、四九二円
三位　蓮沼村　一三二、一四九円
四位　松尾町　一二九、八八八円
五位　成東町　一二六、一一六円
六位　大網白里町　一二五、三〇六円
七位　本納町　一二四、七一二円
八位　長生町　一二四、二六七円
九位　芝山町　一一七、八七七円
十位　富里町　一一五、四八〇円

この実績からみて注目されることは、上位を占めた町村のほとんどが九十九里海岸に沿った地帯であり、芝山と富里の例外はあるが、台地地帯の印旛郡市と南房から内房にかけての一帯が十七位以下にあるということである。

千葉支局の耕作課長の話によると、砂壌土は肥えぎれがよく品質は別として量産には格好の条件であるという。

また都市の近傍では宅地造成ムードのあおりをうけて畑の転用がめだっており、葉たばこの耕作面積も減少しつつある。したがって、支局に割り当てられた耕作面積のワクに余裕ができているので、希望があれば申請してみるのも無駄ではあるまい。

近年の栽培方法や乾燥方法などは著るしく改善され、従前にくらべ格段に簡素化されて今では案外とり組みやすい畑作物といえそうである。

「適地適作」は農を業とする者にとっては常に心掛けなければならない必須要件である。

特別弔慰金の請求は済みましたか

昭和四十年六月一日戦没者の遺族に対する特別弔慰金支給法が施行され、次の要領で支給されることになりました。該当される方で請求手続をしていない方がまだ相当あるように見受けられますが、この請求権は三年（明年五月末日）で時効消滅しますので、至急手続をするようお願いします。

一、受給権者

特別弔慰金を受けることのできる遺族は、次に掲げる者で、昭和四十年四月一日で本人又は他の遺族で同一の戦没者に対する公務扶助料、遺族年金等の受給権を有していないもの

(1)昭和四十年四月一日までに弔慰金の支給を受けた遺族

(2)弔慰金の支給を受けた遺族がいない場合の戦没者の子

(3)弔慰金を受ける権利を取得したものが死亡等の場合には戦没者の父母、孫祖父母、兄弟姉妹

二、特別弔慰金の額等

弔慰金の額は三万円で、十年以内償還の無利子の国債で支給される

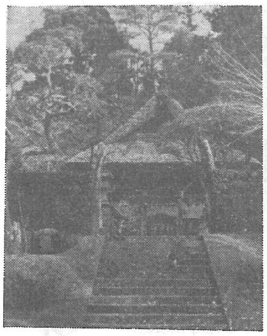
概略以上のとおりですが、詳しくは役場住民課へお問い合わせ下さい。

ふる里の話題
元の町村　大総村（二）

この大総という所には、八幡様の外にも沢山神社や寺院がある。

大宮神社（長倉）日吉神社（小堤）稲荷神社（寺方）熊野神社（坂田）十二社神社（取立）東山神社（遠山）大宮神社（木戸台）大宮神社（中台）稲荷神社（谷台）稲荷神社（木戸台）水神社（於幾）道祖神社（姥山）等があり、又寺院には、

霊通寺（坂田）安養寺（谷台）長寿寺（於幾）最勝寺（於幾）真珠院（寺方）長勝寺（長倉）恵光院（長倉）放光院（姥山）増福寺（木戸台）薬王寺（牛熊）東福寺（小堤）円照寺（寺方）万福寺（遠山）光台寺（寺方）等が数えられるが、この中で本紙に掲載したことのある坂田城に縁の深い霊通寺について、山武地方誌は、「霊通寺は、真言宗智山派に属し、天文三年（一、五三四年）の縁起書によれば、往時泰川勝内という者あり、内勅を奉じて寺格を正し、坂田城主三谷氏及井田氏の帰依を得、本郡、香取、印旛各地方に亘り、末寺十四を持っていた、云々」と伝えている。



写真は遠山の万福寺「とおやまのおあみださま」で昔から有名で、今でも観光を兼ねた団体の参詣者が多い。

郷土の知名人

此の土地で郷土の偉人と言えば、まず、伊能忠敬を指すが、これは余りにも有名であり、世に知られているので、この稿では、明治の末期に、山武郡長に任ぜられ、当時としては極めて栄誉とさえ考えられていた高等官に昇叙した行方幹の経歴を述べることにする。

行方幹＝安政二年（一八五五年）十一月武射郡上大蔵村（現松尾町内）に生れ、明治九年八月牛熊村（現横芝町）行方栄吉（山武地方誌所載「佐兵衛」は誤り）の嗣子となる。幹は若くして県吏員となり、地方税係長、税務課長、収税庶務課長等を経て、明治二十六年には三十六才の若さで香取郡長に任ぜられ、高等官に叙せられている。其後、長柄、長生、君津等の郡長を歴任し、三十五年、遂に山武郡長として故郷に錦を飾ったのである。四十二年七月正六位、翌四十三年一月従五位に叙せられたが、その月に病み千葉病院に入院中没す。享年五十五才。

「郡制が廃止されて既に四十年余り、今更、郡長さんを引張り出すこともあるまい、」と私語される向もあるかもしれないが、町村制施行前に遡上ること十数年という、いわば公務員の大先輩、しかも、高等官といえば薩、長の出身者等はいざしらず、一般の者が容易に昇進できる身分ではなく、第二次世界大戦前後の礼遇官とは少しばかり趣を異にすると思われるので特に掲載した。

歴代村長

氏名	就任年月
吉岡　幸蔵	明22.4～25.5
大木近次郎	25.7～26.9
伊藤　顕治	26.10～29.3
吉岡　幸蔵	29.4～30.3
伊藤源之助	30.4～32.10
伊藤　嘉道	32.11～34.6
伊藤貞太郎	34.6～37.7
伊藤源之助	37.8～39.10
土屋　亀徳	39.10～41.6
八角　菊松	41.7～大5.1
行方　哲次	5.1～7.12
伊藤貞太郎	8.1～10.6
八角　清松	10.7～11.3
伊藤貞太郎	11.4～13.9
行方　哲次	13.10～昭2.5
伊藤平太郎	2.5～2.11
柳橋　市郎	2.11～3.11
押尾　宗吉	3.12～5.1
荻原　竹蔵	5.1～9.2
吉岡　栄亮	9.3～11.9
柳橋　隣二	11.9～15.9
吉岡　栄亮	15.9～18.10
伊藤　豊	18.10～20.2
吉岡　豊	20.2～21.2
伊藤　績夫	22.4～26.4
土屋　熹一	26.4～30.1

以上となっているが、此の中で尚元気に町のため尽力しておられる方々があるのは頼母しい限りである。

（大総村の巻終）

◎（次回からは、旧横芝町を掲載する。）

これだけは守って下さい
—有線放送室—

最近、また「有線の応答が遅い」、「話中が長すぎる」というお叱りをいただきます。関係職員も精いっぱいの努力を続けてはおりますが何にしましても限られた回線では、誰かがその回線を使用中は接続できません。そこで有線放送室では通話を円滑にする一つの策として、次のような事柄をお願いしております。

混雑時は避けて下さい。

一番通話申込みが殺到するのは、一斉放送及び休憩に入る前と終った直後です。従って此の時刻に通話を申込まれますと、時には五分以上もお待ち願う場面も出来てくることになりますので、なるべくそうした時刻を避けての御利用をおねがいいたします。

通話はなるべく簡単にすませて下さい。

通話は、あらかじめ用向きを考えておき、相手が出たならば、なるべく簡単に話をすませるようにして下さい。天候の挨拶から近況お伺い、果ては外出時の服装の打合せまで長々と続けられますと、それだけ外の方にお待ち願う結果になる訳です、お互いのため宜しく御協力をおねがいいたします。

また、余りちいさい子供さんや、酒に酔った方等については、その有線所有者の方が責任をもって正しい通話方法と言葉の使用についての指導をおねがいいたします。

同じ回線内の通話申込みについては、こんなふうに扱って下さい。

「この回線の何番」と申込まれましたならば一度受話器をおいて下さい、そして、交換係の呼出が三回（又はそれ以下で中断）聞えましたならば再び受話器をあげて「もし、もし」と呼かけて下さい。それでも相手からの応答がなかった時は、そのまま十五秒位待って下さい。それでも相手からも交換台からも合図がないようでしたならば受話器を元に戻し少し経ってから再び呼出しを行い以上の方法をくり返して下さい。

受話器の音量は余り下げないで下さい

「出ない筈はない、いま一度呼んでくれ」何度呼んでも出ない旨を回答しても承知してくれない時には泣きたくなる」と係が言っています。スピーカの音量は余り落さないで、呼出しにはすぐ応じられるようにしておいて下さい。

——笠ぬいて秋の深さを知る日かな——

去る4月16日、北清水の清水神社境内に、故伊藤東一郎先生の頌徳碑と句碑が建てられました。世人は末永く伊藤先生の御遺徳を偲んで心の道標とし、また村長退任時の此の一句に先生の感懐の情を追想するでありましょう。

町に老人クラブ十四
元気一杯社会奉仕

政府の音頭で結成を奨励している老人クラブは、この町でも各部落で続々と結成されています。数えて見ましたところ十四クラブもありました。御紹介しましょう。

○上町クラブ（七七人）○南川岸（四五人）○遠山（三九人）○於幾（五四人）○木戸台（九二人）○東町明友会（一〇三人）○本町（六九人）○中台（七三人）○長倉（七一人）○古川両国（八六人）○姥山（四七人）○鳥喰（七六人）○鳥喰沼（三五人）○立会（七〇人）。

老人クラブというと大変年よりくさく聞こえますが、まだまだ元気一杯、「若い者に負けません」と意気さかんで、部落奉仕やら社会奉仕をいろいろと考え実行しているクラブが多いのです。

本町クラブ大谷もとさんはこのほど雑巾四〇〇枚を作り横芝小学校へ寄贈されました。

又東町明友会員も同じく雑巾一四〇枚を同小学校に寄贈されました。

なおこれらの老人クラブ連合会が昨年十二月発足し、会長に真行寺多仲氏、副会長に子安馨氏と伊藤仙蔵氏が選ばれ、人生の経験者として大いに社会啓発の意慾をもやしております。

五円玉で二千円
伊野彰君が寄附

問題青少年のことがやかましく論ぜられている今どき、これはまことに奇篤な青年のはなし。

去る三月十三日横芝町の警察幹部派出所に突然二十才位の青年が現れて「困っている人にあげて下さい」と、五円玉で二、〇二五円を置いて立ち去ろうとした。居合せたお巡りさんが種々押し問答の末、「伊野彰」とだけ告げて帰って行ったという。

警察から連絡があって役場で調べたところ、鳥喰新田の伊野為重さんの五男で船橋市に居住して働いている十九才の青年であることが判った。

同君の学友の話によると学校時代成績も良かったし、実に真面目そのもののような人柄で、日頃の言行から推してそういう奇篤な行為をするだろうということは充分考えられるとのことである。

好漢伊野彰君の幸福と成功を祈ってやまない。

陸海空自衛官
目下募集中

国の平和と安全を守りながら自分自身の修養と広く深い技術の修得ができる自衛官は、青年の理想的な進路であります。いま防衛庁では陸、海、空の自衛官の募集を行っています。

募集要領

応募資格　年令十八才以上二十五才までの男子で、中学卒業以上の学力ある者、

試験科目　中学卒業程度の国語、数学、社会の筆記試験、身体検査及び口述試験、

給与　初任給一五、二〇〇円ほか被服、食事等現物給与

なお以上のほか幹部、幹部候補生、防衛大学生、航空学生、看護学生、貸費学生なども募集しています。詳しくは役場の係にお問合せください。